

すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会（第20回）会議録（概要）

- 1 開催日時 平成27年（2015年）6月10日（水） 14時00分～15時15分
- 2 開催場所 吹田市役所 4階 特別会議室
- 3 出席者名簿 別紙「出席者一覧」のとおり
- 4 配付資料 資料1 持参率の現状について
資料2 平成27年度マイバッグキャンペーン実施一覧（案）
資料3 平成27年度事業者の環境キャンペーン等一覧
資料4 平成26年度レジ袋削減・マイバッグ持参促進啓発について
- 5 議案
 - (1) 持参率の現状について
 - (2) 平成27年度レジ袋削減・マイバッグ持参促進啓発について
 - (3) その他

6 会議要旨

- (1) 持参率の現状について

【事務局】～資料1に基づき説明～

【会長】質問あるか。

【市民団体A】関心をもってある程度マイバッグをもってきていただける方が増えてきたが、頭打ちになっている。さらに関心をもつていただける方を増やすにはどうしたらいいか考え、思い切ったことをしなければならない。

【会長】この後、マイバッグキャンペーンや事業所さんの取組みについて説明があるので、今後の啓発の展開についてご検討いただければと思う。

- (2) 平成27年度レジ袋削減・マイバッグ持参促進啓発について

【会長】事務局より報告をお願いします。

【事務局】～資料2、資料3に基づき説明～

【会長】各事業所さんでされているキャンペーンの説明があった。事業所さんからも補足説明していただけないか。事業者Aさんいかがか？

【事業者A】買い物額に応じてシールを配布し、一定のシールを集められた方にオリジナルの保冷バッグをお渡しした。マイバッグの持参率の向上は若干あった。

【会長】事業者Bさんいかがか。

【事業者B】キャンペーンをしていただけるのは、吹田市以外では尼崎市の一部の店舗。そちらでのキャンペーンの際にオリジナルのマイバッグを配布している。大きな店舗

では、社員もでて一緒に実施しているところがあるが、事業者BのA店舗は小さな店舗のためキャンペーンに社員をだすことができない。せめて、啓発グッズだけでも提供させていただき協力させていただきたいと思う。

【会長】ありがとうございます。他の事業所さんもここはこうした方がよいという意見はないか。事業所さんで実施される環境キャンペーン等への市民団体の参加の要望があればお声掛けいただきたい。事業者Bさんいかがか。

【事業者B】北摂地域の他の自治体さんへの働きかけがどうなっているのか聞かせていただきたい。

【事務局】今年度も北摂共通マイバッグキャンペーンを実施していきたいと考えている。

【会長】できたら、年に1回でも、できる範囲で提案をしてもらえれば協力していける。よろしく願います。

【事務局】すいたマイバッグキャンペーンの実施については資料2のとおり実施させていただくことでよろしいか。

【会長】みなさんいかがか。

【全員】異議なし。

【市民団体B】啓発品は何を配るのか。

【事務局】ティッシュ、チラシを配布し、すいたんも登場させる。

【会長】事務局より資料4の説明をお願いします。

【事務局】～資料4に基づき説明～

【会長】何か質問はないか。北摂地域共通ポスターは、予算の関係もあるかもしれないが、各市町への働きかけを出来るだけ継続していつてもらいたいと思う。

【部長】当初は、お声掛けしても難色を示される市町も多かったが、少しずつ協力的になってきている。今後も粘り強く働きかけていきたい。

【会長】他にないか。

【市民団体A】私たちが、地域で一般市民に働き掛けづらいところがあるので、行政から提案していただけると動きやすい。

【会長】自治会長の立場として申し上げさせてもらうが、レジ袋の取組みの初期の時期にはレジ袋の削減について自治会を通じてお願いしていた。レジ袋の削減についてはまだ道半ばである、終わっていないということを、連合自治会長や諸団体をお願いして、もう一度発信しないといけないのではないかと思う。今年の課題になってくると思う。すいた祭りでもごみの分別をしている。そこでチラシを配布する等、何らかの方法で実施して欲しい。

【部長】事業所さんもお遠慮があるとは思っている。ご要望いただければ、市民さんにも伝えていきたいし、それを政策の中にも取り入れていきたいと思っている。この場でお遠慮なくご意見をいただけるとありがたい。

【市民団体C】 これだけキャンペーンをするので、地域の廃棄物減量等推進員さんには必ずお声掛けいただきたい。

【事務局】 これまでも推進員さんには依頼させていただいているが、今回についても廃棄物減量等推進員地区代表者連絡会の総会場で協力について願います。

【市民団体D】 市役所にもコンビニができた。コンビニや、ドラッグストアへの呼びかけをどうしていくのかということが課題。

【部長】 市役所のローソンさんでは、職員がレジ袋の辞退をしている。職員に渡さないでほしいとお願いしたところ、お客様にレジ袋を渡さないのは失礼にあたるという意識があったようであるが、理解してもらえた。

【市民団体D】 現在、キャンペーンをスーパーでのみ実施しているが、市内にいくつかコンビニがあるので、スーパー以外、様々なところで実施できればよいと思う。

【会長】 事業者Cさん何かご意見あるか。

【事業者C】 貰わないようにする、渡さないようにするという意識付けをしていく必要があると思う。

【会長】 3者が一体となりキャンペーンやポスター、チラシなど様々なツールを通じて、継続して意識付けしていかなければならない。事業者Dさんご意見等あるか。

【事業者D】 スーパーが無料のビニール袋を大量に出したことによって環境と行政に負担がかかっていることは事実。現在の手法ではマイバッグの持参率は50%が限界であると思っている。キャンペーンも限界にきているので、有料化するのがベストであると思う。行政な強力なリーダーシップ、消費者や各種団体の前向きな姿勢と、事業者も賛同することが必要である。京都市では10月から全体が有料化になる。京都市は閉鎖的な条件があるので、やり易いが、吹田、豊中は競合店舗があり厳しい所であるので、今後どのように実施していくかということが課題。

【会長】 皆さんの様々な意見に耳を傾けながら進めていきたいと思う。事業者Eさん何かあるか。

【事業者E】 吹田市と豊中市が隣接している場所に店舗がある。豊中市の方も同じ意識をもってしていただかないといけないと思っている。有料化になれば厳しいご意見をいただくこともあるかと思う。

【部長】 北摂の協議会を作ろうということになったのも、この協議会での事業所さんのご意見があつてのこと。昨年が豊中市さんに協力いただいて、共通キャンペーンを実施した。高槻市さんも積極的であるので、今年は高槻市さんに働きかけて実施できないかと思っている。事業所さんにもぜひとも一緒に歩調をあわせて進んでいてもらいたい。

【会長】 事業者Fさん何かご意見はないか。

【事業者F】 昨年の11月に有料化を実施したが、今年の1月16日で取りやめにした

という経緯があった。今回、京都市内の店舗では有料化に踏み切ることになった。地域によってはできるところもある。

【事業者G】京都市と協定を締結することになった。吹田市、豊中市はグループ会社を含め競合店舗が多いことから、有料化することは難しい。奈良市も協議会有り、市長さんが協議会の場に出てきておられる、エリアとしてどうするのか様子を見ながら考えている。

【会長】様子をみながらしていると中々始まらない部分もある。それが、出来るか出来ないかは別として時期を決めてしないといけないのではないか。事業者Aさんはいかがか。

【事業者A】レジ袋の有料化については、事業者でなかなか踏み込めない部分があるので、行政が主導となり実施してもらいたい。

【会長】事業者Bさんいかがか。

【事業者B】京都市に協力し進めていくことになっている。北摂のネットワークを深めていただいて、協力して進めていくことが必要であると思う。

【市民団体E】買い物に行つて思うのは、レジ袋を辞退したときにポイント加算してもらおうより、現金値引きしてもらおうほうがよいと思う。

【会長】市民団体さん、何かあるか。

【市民団体F】現金値引きかポイント加算どちらがやり易いかというのはあるか。

【事業者G】それぞれ、会社の方針があるのでどちらがということはない。

【会長】他に何かあるか。

【市民団体G】北千里では、ほとんどの方がマイバッグを持って来ている。従業員の方がレジで声掛けをしていただいている。声掛けいただくことで、意識する。

【事業者D】南千里よりも北千里の店舗の方が持参率が高い。

【部長】事務局では各店舗の持参率を把握している。北千里は他の地域と比較して持参率は高い。

【事業者G】協議会に参加されていない事業者さんへの呼びかけもお願いしたい。

【会長】呼びかけていく。

【会長】他に御意見はないか。ないようであればこれで終了とする。